

マラリアキナーゼを標的とした新規マラリア治療薬の開発研究



■期待される成果

世界中で問題となりつつある薬剤耐性マラリア原虫に対しても有効な新たなマラリア治療薬の開発

■想定される実用化の時期 2025年頃

■シーズの内容

- ・「マラリア原虫類の感染治療及び予防剤」に関する特許
大村 智、乙黒 一彦、岩月 正人(北里研究所)
- ・キナーゼ創薬に関する技術(カルナバイオサイエンス)

■プロジェクトリーダー

カルナバイオサイエンス株式会社・澤 匡明

■実施機関

北里大学 北里生命科学研究所 熱帯病研究センター
カルナバイオサイエンス株式会社

■実施期間

平成25年12月～平成28年11月

■ 研究開発のポイント

1. 新規機序

本研究の最も特徴的な点は、マラリアのキナーゼを標的とした創薬開発である。

2. 新規化学構造

既存のマラリア治療薬でキナーゼを標的とした薬剤はなく、また化学構造も大きく異なることから、マラリアキナーゼを標的とした研究は「既存薬に対する耐性原虫に対しても有効な薬剤」となることが期待される。

3. ドラッグライク

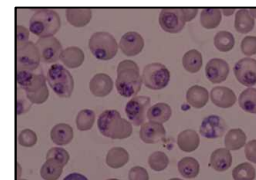
本研究のリード化合物は、ドラッグライクな構造をしていることから、さらに構造最適化を進めることで、既存薬アルテミシンの最大の弱点である、経口吸収性、体内動態および製造コストの問題を克服できる。



ハマダラカによるマラリア感染

<http://www.cdc.gov/malaria/about/biology/mosquitoes/>

新規抗マラリア薬



赤血球内に感染したマラリア原虫